



仮設電源サービスの契約について (43競技会場及び選手村・IBC/MPC)

会場整備局 エネルギー部 エネルギー課

1 決議事項

- ① 43競技会場及び非競技会場である選手村・IBC/MPCの会場内において、大会時に必要な電力を供給するための仮設電源サービスについて、仮設電源供給事業者と契約する。

- ② 契約先については、仮設電源サービスのスポンサー契約予定である仮設電源供給事業者との特別契約とする。

2 仮設電源設備

- (1)既存の電源設備では大会時に電力容量が不足するため、これを補う電源設備。
- (2)二重化した商用電源を会場で受電する設備。
- (3)商用電源が停電した場合であっても、競技の継続及び競技場内の安全を確保するための発電機。

○仮設電源設備の設置例

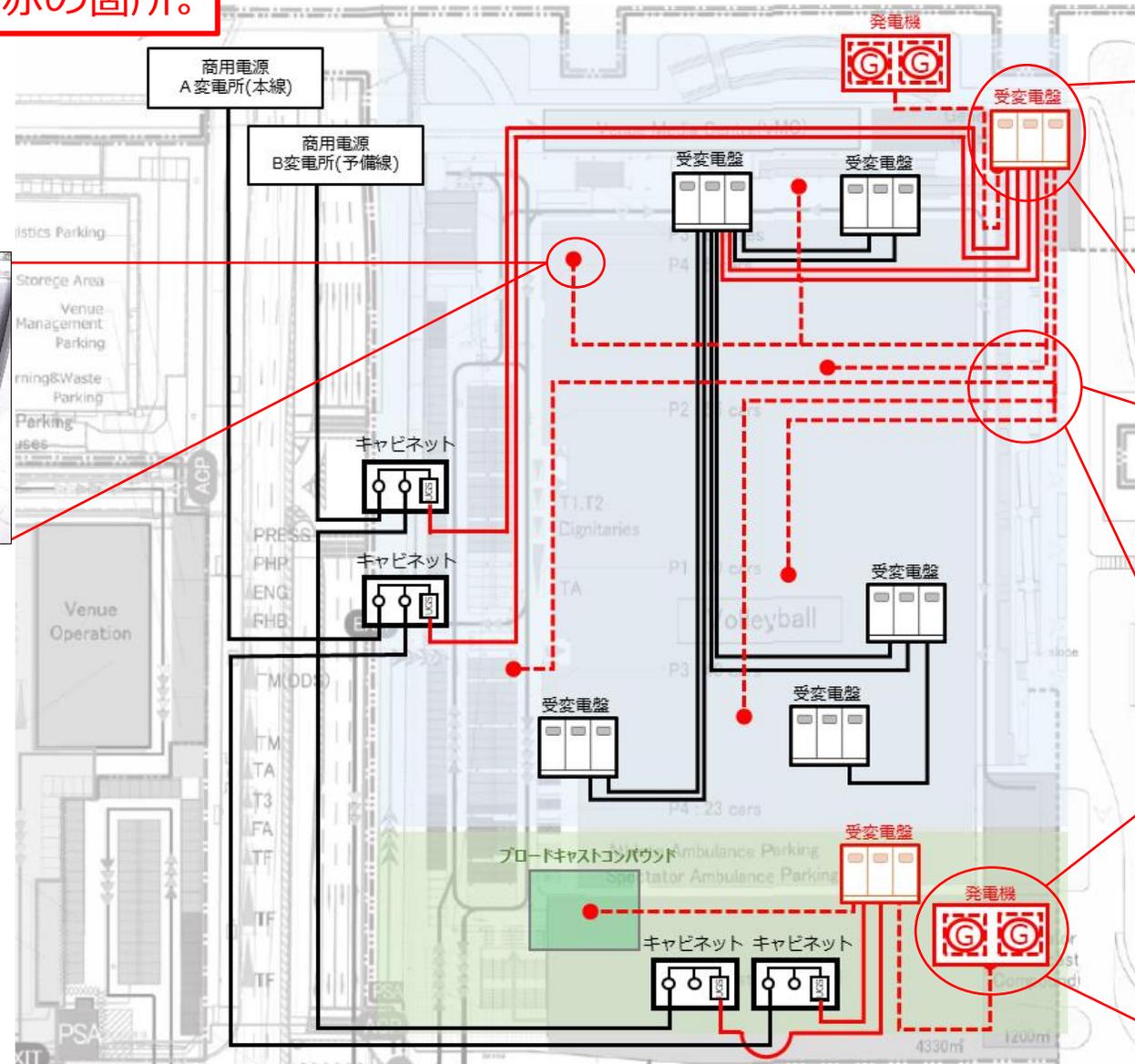
具体的には、下図の赤の箇所。

配電盤



【凡例】

	記号	設備名
恒設		商用電源ケーブル
		キャビネット
		受変電盤
		ケーブル (高圧)
仮設		受変電盤
		ケーブル (高圧)
		ケーブル (低圧)
		発電機



受変電盤



ケーブル



発電機



3 仮設電源サービスの業務範囲

○設計：実施設計

○仮設電源設備（ケーブル、受変電盤、発電機、変圧器、配電盤等）のレンタル

○仮設電源設備の設置及び撤去：

- 日本国内への輸送及び倉庫設置
- 倉庫から会場までの輸送
- 設置
- 設置完了後の検査
- 撤去・復旧

○運用：

- 仮設電源設備の24時間オペレーションサービス
- 仮設発電機用燃料の受け入れと管理

4 当該契約における特色

(1) 電力使用量

大会中の電力需要想定は全体で約22万kW。

うち、オーバーレイ分が約15万kW。（都庁の約24倍に相当）

→受変電盤、変圧器等で約4,000台が必要。

(2) オーバーレイで設置される全てに電源を供給

運営諸室、ブロードキャストコンパウンド、PSA等の仮設プレハブ、テントへ電力ケーブルにより供給。

→ケーブル敷設延長は約2,000km。

5 スケジュール



- 予定契約期間： 2018年12月～2020年12月
- テストイベントへの仮設電源供給対応については、調整中のため別途発注予定。

6 契約関係

- (1) 執行見込額：V2予算の範囲内
 - 執行見込額については、日本の公共積算基準と比較し、安価であることを確認。
 - 無停電電源装置（UPS）は今後別発注。

- (2) 予定調達方式：特別契約
 - ※パートナー供給契約に基づく契約。（契約締結準備中）

- (3) 予定契約先：仮設電源供給事業者

- (4) 予定契約期間：2018年12月～2020年12月